

平成 28 年度事業報告

1. 事業の目的(美しい手賀沼の実現に向けての提言と参画)

「美手連は、関係市民団体及び手賀沼水環境保全協議会(手水協)、県、市などの自治体と協力・連携を図り、手賀沼浄化及び環境保全を進め広く市民に呼びかけます。」について

手水協の構成団体として、通常総会、担当者会議、幹事会に参加し、市民の視点からの意見を提案しました。さらに、手賀沼流域フォーラム実行委員会の事務局を担い、手賀沼統一クリーンデイを主催するなど、手賀沼流域の行政や市民活動団体と協働し、市民参加や参画による手賀沼流域の環境保全活動を進めました。

(1) 手賀沼地域農業農村整備事業推進協議会幹事会 環境検討部会への参画

手賀沼地域農業農村整備事業推進協議会は、「自然災害の未然防止と地域の活性化に資する国営土地改良事業及び農業農村整備事業の円滑迅速なる推進を図る」ことを目的として平成 27 年 2 月に設立されました。会員は千葉県、国(関東農政局)、手賀沼流域 7 市・船橋市・八千代市と千葉県手賀沼土地改良区です。

環境検討部会は「環境への配慮や地域づくりにおいて検討を行い、国営事業における環境配慮計画を策定する」ことを目的として平成 28 年 3 月に設置されました。既参画団体に加えて、学識経験者・漁協組合・観光協会・市民団体が参画しています。

3 月 13 日の検討部会では、「平成 30 年度末までに排水路、揚水機場の改修計画を立てる、調査結果を踏まえて環境配慮の方策策定に向けて意見を聞くとの方針案が提案されました。現地視察をし、金山落の 1m 地盤沈下による排水障害、桜並木保全問題、機場ポンプの 40~50 年経過による更新など全体に大規模工事を考えていることが解りました。

美手連からは間野副会長が出席し、環境汚濁物質の面源対策とナガエツルノゲイトウ対策を要望しました。今後年 2 回の会議の中で、美手連として手賀沼の面源対策とナガエの影響対応を考慮することを要望していきます。他の市民メンバーからは工事による掘削の際に埋土種子を採取する提案など色々な意見が出されました。

(2) 手賀沼親水広場「水の館」オープニングイベントについて

3 月より開催されている実行委員会に参画しています。オープニング以降も環境関連の展示の充実が図れるよう協力し準備を進めています。

2. 行政との協働事業

(1) 手賀沼統一クリーンデイの充実

「手水協、県、市などの自治体及び他団体との連携や情宣の工夫により参加者の拡大を進めます。清掃活動を通して、市民にゴミのない綺麗な環境を維持することの素晴らしさと大切さを体感して貰います。」について

第 14 回手賀沼統一クリーンデイは、2015 年度同様我孫子地区、柏地区(3 か所)、印西亀成川地区、白井地区の 4 地区 6 か所で実施しました。

広報については、エコマラソンでチラシを配布したほか、白井地区、印西亀成地区では独自にチラシを作成し、地域に参加呼びかけをしました。全体で参加者数は 709 人(前年比 86.5%)、ゴミ収集量は 2.17 トン(前年比 111.3%)でした。

【柏（大堀川）地区】12月4日実施

企画運営：大堀川の水辺をきれいにする会

実施場所：柏ふるさと公園～大津川河口の手前

参加者：74人（一般49人：柏トライアスロンサポート、竹中土木、長寿大学、北柏朝会、会員25人）

ゴミ収集量：250kg

挨拶、作業説明、ラジオ体操の後に4つの班に分かれてそれぞれの作業区域に向かいました。事前に道作りをした第4班は、屈強のトライアスロンチームに主力として担当いただき、胴長を着用して大物を引き上げることが出来ました。また、1歳に満たないお子さんを抱きながら参加した若いお母さんにも感動しました。

【柏（大津川）地区】12月4日実施

企画運営：大津川をきれいにする会

実施場所：大津川ふたご橋～ヒドリ橋、手賀沼自然ふれあい緑道

参加者：50名（会員24名、千葉銀行清風会50名、一般2名）

ゴミ収集量：500kg

3つのグループに分かれて作業をしました。千葉銀行ボランティアグループの若い皆さんの活躍で、ポイ捨てのゴミから粗大ごみまで1時間で収拾作業が終わり、会員が仕訳を行いました。

【柏（沼南岸）地区】12月4日実施

企画運営：沼南 手賀沼ボランティア会

実施場所：手賀沼自然ふれあい緑道（道の駅「しょうなん」～東見晴らし台の沼側湿地）

参加者：千葉銀行清風会50名、会員5名

ゴミ収集量：210kg

岸辺まで下りるための踏み跡がないため、軽装では水辺まで下りることができない状況でした。そのため収集量は少なめでした。

【我孫子地区】12月4日実施 *我孫子市「ふれあい清掃」と同時開催

企画運営：NP0せっけんの街、アルバトロスヨットクラブ

実施場所：手賀沼北岸（根戸新田～手賀沼公園）

参加者：436名（ふれあい清掃実行委員会88名、一般348名）

ゴミ収集量：930kg

今年度は、根戸下のヨシ原部分の草刈りが行われたので、道路下のゴミ拾いを実施しました。また、中央学院大の学生達と、我孫子野鳥を守る会等の美手連有志が、ナガエツルノゲイトウ遮光シート周辺で草体の駆除、土嚢の更新を行いました。さらに公園岸壁の石垣の隙間に、ナガエの新しい芽が見つかりました。

【印西亀成川地区】12月4日実施

企画運営：亀成川を愛する会

実施場所：亀成川と流域の古新田・別所

参加者：26名（一般18名、印西市職員2名、亀成川を愛する会6名）

ゴミ収集量：120kg

印西市生涯学習課からの依頼で、印西市市民アカデミーの皆さんの協力を得て実施しました。

当日は好天に恵まれ、ゴミ拾いをしながら里山の生き物観察をしました。作業終了後は、手賀沼のことや里山の生物多様性の大切さをもっと知ってもらおうと、〇×クイズを実施しました。最後はジャンケンで勝敗を決め、優勝・準優勝者には地元別所のお米を、参加者全員に地元野菜をプレゼントし、楽しんでもらいました。

【白井地区】12月11日実施

企画運営：美手連、白井市、今井の桜並木保全プロジェクト

実施場所：金山落（名内橋から今井3号橋）

参加者：42名（一般27名、県3名、手賀沼土地改良区1名、白井市6名、鎌ヶ谷市1名、今井の桜保全プロジェクト3名、美手連1名）

ゴミ収集量：160kg

白井市役所に集合、マイクロバス2台に分乗し、現地に移動。名内橋から今井2号橋へ向かう班と反対側の今井3号橋から今井2号橋へ向かう班がそれぞれの両岸に分かれてゴミ拾いをしました。今年は、細かなゴミは少なかったのですが、家電製品や日用品など不法投棄物が目につきました。

作業終了後今井の青年館に集合、恒例の地元白井の郷土料理「ばらっぱまんじゅう」をいただき、その後バスで移動し、平塚地区の延命寺本堂、観音堂（県指定文化財）、十九夜塔（市指定文化財）、鐘楼を見学しました。

(2)手賀沼流域フォーラムの開催

「2016年度(第20回)手賀沼流域フォーラムの事務局を担い、開催します。流域の団体、自治体と連携し実行委員会を組織して、大勢の市民参加をはかります。」について

地域企画は24団体により33企画（27年度29企画）を計画し、32企画が実施され、参加者数は1771名（27年度1683名）でした。

10月23日の全体会は、NPO法人小網代野外活動調整会議代表・慶應義塾大学名誉教授 岸由二さんによる講演「流域思考の小網代保全」と、手賀沼流域における事例報告として、大津川をきれいにする会会長 長原邦子さんに「大津川に再びホテルを夢みて」をお話いただきました。また、手賀沼流域の里山保全活動団体によるポスターセッションには、手賀沼森友会・一球会（柏市）、手賀沼トラスト・岡発戸・都部の谷津を愛する会（我孫子市）、NPOさとやま（流山市）、亀成川を愛する会（印西市）が参加しました。さらに、10月17日から23日までストリートで講演会のお知らせを含めて手賀沼流域フォーラムの活動を広報するためのパネル展示を行いました。

会場がアビスタであったこともあり、参加人数は103名（27年度72名）となり、アンケートからは以下のように大変好評であったことが読み取れました。

- ・ 岸さんは、本音で話され、行政だけではなく同じ環境保全をしている市民活動団体とも戦いながら、流域思考の保全というやり方で素晴らしい自然を再生されたということがしっかり伝わった。
- ・ 長原さんの報告は、パワーポイントをとてとても上手に作られていて、活動ごとにまとめ丁寧に報告していただいたので、とてもわかりやすかった。
- ・ ポスターセッションでは、これだけたくさん活動している団体があることを知らなかったなど、今回は普段環境にあまり関心がない一般の方が多く参加してくれたことがわかった。

24年度より実施している手賀沼生き物調査事業は、「特定外来生物ナガエツルノゲイトウ調査」「ハス群落の抑制実験」「特定外来生物オオカワヂシャ調査」「手賀沼の魚類貝類調査」を実施しました。（調査内容は、「4. 在来生態系の保全復元活動」で報告）

平成 28 年度地域企画実績 ●印新規企画 ■印親子企画

	月/日	企画名	企画団体	参加実績 一般+スタッフ
柏 ⑦	6/4	●■手賀沼親子ヨット体験乗船会(柏 No. 1)	NPO 法人アルバトロスヨットクラブ	73+22 名
	8/13	■手賀沼親子ヨット体験乗船会(柏 No. 2)		70+17 名
	9/25	手賀沼周辺の史跡巡りと船上よりの景観を楽しむ	大堀川の水辺をきれいにする会	20+13 名
	10/1	大津川上流域の自然と歴史をバスで訪ねる	大津川をきれいにする会	15+8 名
	10/8	手賀沼船上めぐりと鳥の博物館の見学	沼南 手賀沼ボランティア会	16+5 名
	10/15	■親子で来てね!手賀沼用水路で魚とり(柏)	手賀沼水生生物研究会	35+12 名
	10/16	こんぶくろ池・キノコの観察会	NPO 法人こんぶくろ池自然の森	23+11 名
我孫子 ⑭	5/8	緑のカーテンを作ろう!2016	我孫子市消費者の会	50+15 名
	5/21	●■冬水田んぼで田植えをしよう	NPO 法人手賀沼トラスト	23+10 名
	6/25	■手賀沼親子自然観察会-手賀沼用水路で魚とり!	手賀沼水生生物研究会	66+15 名
	7/16 8/20	■かかし祭り ①かかし作り ②かかし祭り	NPO 法人手賀沼トラスト	①36+②27 名
	7/23	■手賀沼をもっときれいに!-せっけんいろいろ実験&体験-	我孫子市石けん利用推進協議会	43+13 名
	7/31	■カブトムシを探そう、クワガタを探そう	船戸の森の会	77+19 名
	9/10	●■冬水田んぼで稲刈りをしよう	NPO 法人手賀沼トラスト	13+17 名
	9/24	■手賀沼親子ヨット体験乗船会	NPO 法人アルバトロスヨットクラブ	23+19 名
	10/1	手賀沼の歴史景観をみよう	我孫子の景観を育てる会	36+4 名
	10/2	■手賀沼水辺探検	我孫子市環境レンジャー	26+15 名
	10/3	川めぐりと木下の史跡散歩	我孫子の文化を守る会	17 +5 名
	10/16	■手賀沼賞 エコ・こども教室	我孫子市環境レンジャー	409+11 名
	10/22	■森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほりしよう	船戸の森の会	47+13 名
12/3	■手賀沼親子ふれあい探鳥会	我孫子野鳥を守る会	40+6 名	
流山	10/2	■手賀沼・鳥の博物館の親子見学会	流山市立博物館友の会	19+4 名
松戸 ③	7/23	■「手賀沼、江戸川をもっと知ろう」	手賀沼流域フォーラム松戸実行委員会	21+5 名
	7/27	手賀沼、江戸川にやさしい気持ちで付き合うには		8+7 名
	3/11	●こんぶくろ池から学ぼう 雨水の行方	NPO 法人せっけんの街	11+5 名
鎌ヶ谷 ②	10/16	■大津川の水辺を知ろう	鎌ヶ谷・大津川を清流にする会	11+11 名
	11/26	竹炭・花炭を焼こう～間伐した竹を使って～	栗野の森の会	21+16 名
白井 ②	9/25	■金山落(今井の桜並木)生き物観察会	今井の桜保全プロジェクト	35+14 名
	11/19	ぐるっと一周平塚の里(天候不良の為中止)	NPO 法人しろい環境塾	
印西 ④	7/24	■亀成川生きもの観察会	亀成川を愛する会	51+13 名
	10/21	手賀沼を巡る水と文化の旅	印西 水と暮らしを守る会	17+5 名
	11/5	手賀沼流域里山散策会 利根川土手コース	印西ウエットランドガイド	21+7 名
	11/17	手賀沼流域里山散策会 光堂コース		23+11 名
		全 33 企画		合計 1771 名

(3)手賀沼流域協働調査の実施

「手水協、県、市などの自治体とともに湧水調査、手賀沼流域河川の水質・生物調査を行います。」について

湧水及び河川の水質調査等を春期と冬期に実施しました。湧水調査は 16 地点、内美手連構成団体は 3 地点に参加しました。河川水質調査は 35 地点で、6 月は水生生物調査（8 地点）も合わせて実施しました。美手連は昨年同様全体の約 6 割の地点の調査に参加しました。

【美手連、加盟団体参加状況】

調査内容	行政区	河川名	場所	参加団体
春期湧水	柏市	大津川	名戸ヶ谷ビオトープ、塚崎	大津川をきれいにする会 沼南手賀沼ボランティア会
春期河川、水生生物	柏市	大津川	高柳馬渡付近 高柳かこうち橋付近	大津川をきれいにする会
			大井二子橋	沼南手賀沼ボランティア会
	染井入落	宮前	大堀川の水辺をきれいにする会	
	大堀川	導水注入前、導水注入後 後原上樋管、天神前樋管 高田緑地前、篠塚樋管、篠籠田 橋樋管、地金堀合流前、地金堀 被樋管、地金堀合流後		
印西市	亀成川	別所青年館、滝、京免一号橋	亀成川を愛する会	
	我孫子市	直接流入	都部新田（湖北集水路） 岡発戸（湖北集水路）	ふれあい手賀沼の会、我孫子野鳥 を守る会、岡発戸・都部の谷津を 愛する会、アルバトロスヨットク ラブ、我孫子の文化を守る会
冬期湧水	柏市	大津川	名戸ヶ谷ビオトープ、塚崎	大津川をきれいにする会 沼南手賀沼ボランティア会
	印西市	亀成川	古新田	亀成川を愛する会
冬期河川	柏市	大津川	高柳馬渡付近 高柳かこうち橋付近	大津川をきれいにする会
			大井二子橋	沼南手賀沼ボランティア会
	染井入落	宮前	亀成川を愛する会	
	印西市	亀成川		別所青年館、滝、京免一号橋
	我孫子市	直接流入	都部新田（湖北集水路） 岡発戸（湖北集水路）	ふれあい手賀沼の会、岡発戸・都 部の谷津を愛する会、アルバトロ スヨットクラブ、我孫子市消費者 の会、美手連

3. 啓発事業

(1)次世代に対する環境学習事業

「こども達が手賀沼に触れる機会を増やし、『手賀沼』を伝えます。」について

手賀沼流域フォーラムの 33 企画 19 企画が親子企画として開催され、「手賀沼賞 エコ・こども

教室」の他、3企画が90名におよぶなどおおぜいの親子参加がありました。地域や手賀沼に親しみ、生き物にふれ、「どうして？」を考える場としても定着しています。

(2)手賀沼とその流域に関する情報の提供

「ホームページの充実を図ります。加盟団体と連携して、色々な情報発信手段を通じ、手賀沼に係る情報を広く提供していきます。」について

27年度末にホームページの全面的なリニューアルを行い、ハス群落の拡大抑制やナガエツルノゲイトウ調査、オオカワヂシャ調査など生態系保全の課題と美手連の取り組みが伝えられるよう工夫をしました。28年度は、ナガエツルノゲイトウの調査や駆除活動を中心としてタイムリーな更新をしました。

(3)学習会・講演会・見学会の実施

「手賀沼流域の環境を良くするため、幅広く知見を深める機会を設けます。」について

(i)講演会の開催

28年度の総会后に、「どうする？外来生物(ナガエツルノゲイトウ)」と題して講演会を実施し、27年度の研修で学んだ 印旛沼でのナガエツルノゲイトウ駆除対策についての情報を、一般市民にも伝えました。

手賀沼の状況報告と合わせて、松本光正さん(印旛沼流域水循環健全化会議事務局)による「桑納川におけるナガエツルノゲイトウ協働駆除作戦」、高橋 修さん(印旛沼土地改良区 水土里ネット印旛沼)による「土地改良区の役割とナガエツルノゲイトウの堆肥化」、鈴木広美さん(東邦大学地理生態学研究室)による「印旛沼流域におけるナガエツルノゲイトウ分布状況」の発表をいただき、意見交換により年度の活動に活かすことが出来ました。

(ii)研修会の開催

6月6日に手賀沼流域フォーラム全体会で講演をお願いする NPO 小網代野外活動調整会議代表の岸由二さんが保全活動をされている三浦半島「小網代の森」を見学しました。NPO 小網代野外活動調整会議 佐藤さんの案内で、入口から数十段の階段を降り、70ヘクタールに及ぶ緑一杯の森に入りました。源流から下流へと合流しながら流れる浦の川沿いに散策路が整備され、周辺では湿原ならではのジャヤナギの不思議な一生に驚き、土穴に隠れるアカテガニを観察することが出来ました。河口の干潟ではチゴガニのダンスを堪能できました。

ここは、昭和30年より以前は谷津田でした。その後周辺地域の宅地造成が始まりましたが、同時にゴルフ場を中心とする巨大リゾート開発計画が持ち上がり、大手鉄道会社が買いとり放置されていたのでそのまま残すことができました。水源から海までそっくり残されています。水路を移動させて湿原を広げることにより、生態系を豊かにし、ホタルもゲンジとヘイケが乱舞するまでになったそうです。手賀沼流域の環境保全活動に役立つ先駆的な取り組みを見学することが出来ました。

(4)勉強会

「会員相互の理解を深め、連携を図るため実施します。」について

28年度も各団体の活動を理事会のショートスピーチで共有しました。

4. 在来生態系の保全復元活動

「手賀沼流域の豊かな生態系をよみがえらせるために、保全・再生活動に取り組みます。

- (1) 行政・研究者・加盟団体とともに調査・研究をすすめます。
- (2) 生態系の保全・再生活動に取り組みます。
- (3) 外来生物の駆除活動に取り組みます。
- (4) ハス群落について、行政とともに調査研究をすすめます。」について

24年度より手賀沼流域フォーラムからの委託事業として、「ハスの刈り取り実験」、「特定外来生物ナガエツルノゲイトウ調査」、「魚類・貝類調査」、「特定外来生物オオカワヂシャ調査」を実施しています。魚類貝類調査は手賀沼水生生物研究会、オオカワヂシャの自生地等の調査は手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる会が中心となって実施しました。

【ハス群落の繁茂抑制のための実験の効果検証】

ハス群落はマコモやヒメガマを侵略し、群落内は貧酸素状態となり、その中に棲むことができる生き物は限られます。また、ヘドロを堆積し浅沼化の原因となっています。美手連は、千葉県立中央博物館の林紀男さんの指導をいただき、拡大を抑制するための方法を探るため、2013年から実験を行ってきました。

28年度は前年度に行った「レンコンに穴をあける」実験の効果検証を行いました。7月と9月に検証したところ、試験区のハスは対照区より背丈が低く、密度が低く、直径が細くかつ試験区中心に行くほど細くなっており、明らかに根切りによる抑制効果は表れていました。以上の結果から次のことが見えてきました。

- ・ 新たに地中を伸張する根が酸素を補給する
- ・ 試験区の外周（対照区）から3m以上内部（試験区）に入ると切断の効果が1年持続する。
- ・ 底質の性状や栄養状態など環境条件により切断効果の持続性は変化すると予想される
- ・ 広域を一気に切断し横から補給を断つのが効果的である。このことは広い面積を切断するとハスの繁茂抑制の効果が大きくなることを示している。

この実験について29年2月19日に、千葉県生物学会で報告を行いました。

【ナガエツルノゲイトウ対策活動】

ナガエツルノゲイトウについては、遮光シートによる駆除実験を継続し、これまでの調査や情報収集で得た知見をもとに、柏土木事務所との話し合いを重ねながら、関係諸機関との協働による試し駆除を実施しました。

しかし、繁茂状況はいつそう進み、手賀沼公園岸壁の隙間にも根を張り出しています。また、手賀沼公園への漂着の頻度も増し、いよいよ深刻さを増しつつあります。

28年11月 北柏ふるさと公園大堀川東岸の駆除作業

共催：柏建設業会 後援：千葉県柏土木事務所、柏市役所

約50名が参加。重機2台が川床に入りナガエツルノゲイトウを掘起こし、大型クレーンで吊り上げトラックに積み、3台で大津川沿いの保管場所へ輸送しました。市民は重機が刈り取った茎や根の流出防止用のネットを張りました。前日の雪雨の影響で水嵩があり、地盤がぬかるみ機械、人力作業とも難渋しました。



12月3日 駆除作戦の検証を県立中央博物館林紀男さんで行い、3カ所「刈り取っていない場所・刈り取ったままの場所・刈り取った後根や茎の駆除をした場所」で発芽の様子や生育状態を比較することとしました。

29年1月18日・2月15日・3月15日 駆除作戦の検証

重機で刈り取った後根や茎を徹底的に駆除するため、10m×10m四方を木杭で囲い、その内側を鎌・鍬等でナガエツルノゲイトウの根や茎をあらかじめ取り除きました。

遮光シートによる駆除

26年3月に手賀沼公園のボート屋さんの棧橋と棧橋の間に繁茂していたナガエツルノゲイトウの駆除のために遮光シートを設置しました。28年度は7月と12月に隙間から成長したものを刈り取りました。この2回の作業に中央学院大学社会システム研究会の学生が参加し協力をしてもらいました。

【オオカワヂシャ対策活動】

オオカワヂシャは24年の手賀沼流域フォーラム企画をきっかけに手賀沼で初確認されました。現在は、大津川の2つの支流（上大津川、逆井方面からの支流）と、その支流が合流した本流の中流部より下流と、手賀沼内の植生帯などに生息しています。

26年春の調査では、上大津川に在来種のカワヂシャがあること、27年春の調査では上大津川の最上流部の水路にオオカワヂシャの大繁茂が確認されました。在来種のカワヂシャ保全のために、柏市環境政策課と相談し、雨水排水対策室へ駆除の申し入れをしていただき、上大津川上流の排水路で、柏市による土砂清掃が行われ、引き抜き作業と合わせて大きな効果を上げることが出来ました。

5. その他

「美手連の目的を達成する事業について支援します。」について

- ・ エンジョイ手賀沼

後援団体として物品の貸出等で協力しました。

- ・ 9月 「我孫子のこれからフェスタ」

手賀沼水生生物研究会主催の手賀沼勉強会「手賀沼が危ない！」に共催団体として協力しました。中野副会長が「ナガエツルノゲイトウの手賀沼の現状」を報告し、小倉顧問（印旛沼流域水環境健全化会議委員、元千葉県環境研究センター水質環境研究室長）からは「学生さん100人も駆除に来た！印旛沼の現状と駆除の試み」をお話いただき、参加者40名でこれからの方向性について意見交換しました。

10月 「手賀沼エコマラソン」のテントブースで、パネル「てがぬまのいきものたち」を掲示し、統一クリーンデイのチラシを配布しました。

平成 28 年度 美しい手賀沼を愛する市民の連合会 活動記録

月 日	会議、独自事業	行政・他団体との協働事業及び他団体事業への参加	
4 月	2 日	大津川支流調査（特定外来生物）	
	15 日	理事会・運営委員会	
	17 日	大津川支流調査（特定外来生物）	
	22 日	手賀沼調査（特定外来生物） 柏土木事務所と船上調査	
	28 日		手水協担当者会議
5 月	5 日	大津川支流調査（特定外来生物）	
	9 日	大津川支流調査（特定外来生物）	第 1 回フォーラム実行委員会
	15 日	大津川支流調査（特定外来生物）	
	20 日		手水協幹事会
	27 日	運営委員会	
6 月	6 日	研修会（小網代の森見学）	
	8 日		協同調査【河川水質、水生生物】 柏
	11 日	総会と講演会	
	14 日		協同調査【河川水質、水生生物】 我孫子
	17 日		協同調査【湧水】【河川水質、水生生物】 柏
	24 日	運営委員会	
	27 日		協働調査【河川水質、水生生物】 印西
7 月	1 日	ハス群落抑制実験の検証	
	2 日	ナガエツルノゲイトウ遮光シート周辺 駆除作業（中央学院大社会システム研究会参加）	
	4 日		第 2 回フォーラム実行委員会
	12 日		手水協総会
	28 日	理事会・運営委員会	
8 月	18 日		印旛沼クリーン大作戦（ナガエ駆除）
	19 日	運営委員会	
9 月	2 日	柏土木・柏建設業協会と打ち合わせ	
	5 日		第 3 回フォーラム実行委員会
	10 日	生き物調査(魚類・貝類・プランクトン)	
	14 日	運営委員会・ハス群落刈り取実験検証	
	24 日		「我孫子のこれからフォーラム」で発表
	30 日		我孫子市ふれあい清掃実行委員会
10 月	12 日		第 4 回フォーラム実行委員会
	19 日	運営委員会	

	21日	理事会	
10月	23日		第20回手賀沼流域フォーラム全体会
	28日	ナガエツルノゲイトウ駆除テストラン (大堀川河口)	
	30日		手賀沼エコマラソン
11月	15日		第5回フォーラム実行委員会
	18日	運営委員会	
	25日	ナガエツルノゲイトウ駆除	
12月	1日		協働調査【河川水質】印西、【湧水】印西
	4日	手賀沼公園遮光シートナガエ駆除	統一クリーンデイ 柏地区(大堀川)、柏地区 (大津川)、柏地区(手賀沼南岸)、我孫子地区 (手賀沼公園周辺)、印西地区(亀成川流域)
	7日		協働調査【河川水質】我孫子地区中央排水路 等
	11日		統一クリーンデイ 白井地区(金山落)
	13日	手賀沼公園遮光シートと大堀川のナガ エの検証	
	16日		協働調査【湧水】名戸ヶ谷ビオトープ
	16日		協働調査【河川水質】大津川
	21日	運営委員会	
1月	4日	大津川支流調査(特定外来生物)	
	17日		第6回フォーラム実行委員会
	18日	運営委員会、大堀川ナガエ駆除	
	20日	理事会	
2月	15日	大堀川のナガエ駆除	
	16日	運営委員会	
	19日	大津川支流調査(特定外来生物)	千葉県生物学会研究発表
	23日		第7回フォーラム実行委員会
3月	8日		印旛沼水質保全協議会・手賀沼水環境保全協 議会共催による勉強会
	4日	大津川支流調査(特定外来生物)	
	10日	大津川支流オオカワゼシヤ調査と駆除	
	13日		手賀沼地域農業農村整備事業推進協議会
	14日		協働調査ワーキング
	15日	運営委員会・大堀川ナガエ駆除	
	17日	生き物調査(魚類・貝類・プランクトン)	
	18日	生き物調査(魚類・貝類・プランクトン)	
	23日		第8回フォーラム実行委員会
	25日	大津川支流調査(特定外来生物)	